

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
【部門区分】第 6 部門第 1 区分  
【発行日】令和 2 年 2 月 13 日 (2020.2.13)

【公開番号】特開 2018-124188 (P2018-124188A)  
【公開日】平成 30 年 8 月 9 日 (2018.8.9)  
【年通号数】公開・登録公報 2018-030  
【出願番号】特願 2017-17156 (P2017-17156)  
【国際特許分類】

G 0 1 N 21/17 (2006.01)

A 6 1 B 3/10 (2006.01)

【F I】

G 0 1 N 21/17 6 3 0

A 6 1 B 3/10 R

【手続補正書】  
【提出日】令和 1 年 12 月 24 日 (2019.12.24)  
【手続補正 1】  
【補正対象書類名】特許請求の範囲  
【補正対象項目名】全文  
【補正方法】変更  
【補正の内容】  
【特許請求の範囲】  
【請求項 1】

OCT 光源から出射される光を測定光と参照光に分割し、被検物からの前記測定光の反射光と、前記参照光とが合成されたスペクトル干渉信号を検出する OCT 光学系と、

前記 OCT 光学系から出力されるスペクトル干渉信号を処理して OCT データを取得可能な OCT 装置であって、

第 1 の FPN を発生させる第 1 の光学部材と、前記第 1 の FPN よりもゼロディレイ位置から離れた位置に第 2 の FPN を発生させる第 2 の光学部材と、を少なくとも備え、少なくとも 2 つの FPN 信号を生成するための FPN 生成光学系と、

前記第 1 の FPN と前記第 2 の FPN とを検出可能な検出手段を有し、前記検出手段によって検出された前記第 1 の FPN と前記第 2 の FPN を処理し、前記第 1 の FPN に基づく各波数成分のマッピング情報と前記第 2 の FPN に基づく各波数成分のマッピング情報との間の差分情報に基づいて、各波数成分のマッピング状態を補正するための補正情報を得る補正情報取得手段と、を備え、前記補正情報を用いて OCT 画像を得ることを特徴とする OCT 装置。

【請求項 2】

前記 FPN 生成光学系は、光路分割部材を備え、

前記第 1 の光学部材は、前記光路分割部材によって分割された第 1 の光路に配置され、

前記第 2 の光学部材は、前記光路分割部材によって分割された第 2 の光路に配置されていることを特徴とする請求項 1 の OCT 装置。

【請求項 3】

前記第 1 の光路と前記第 2 の光路は、互いに異なる光路長を持つと共に、前記第 1 の光路の分散量と、前記第 2 の光路の分散量とが等しいことを特徴とする請求項 2 の OCT 装置。

【請求項 4】

前記検出手段は、前記第 1 の FPN と前記第 2 の FPN の両方を同時に検出可能であることを特徴とする請求項 1 ~ 3 のいずれかの OCT 装置。

【請求項 5】

前記 F P N 生成光学系は、

第 1 の F P N に対する光学的距離によって導かれる第 2 の F P N の感度減衰カーブよりも、第 2 の F P N の信号強度が相対的に上回るように設定されていることを特徴とする請求項 1 ～ 4 のいずれかの O C T 装置。